

AGRI  
X Future  
SDGs

農  
業

学校案内  
2024

農業のプロ(2137)。

新しい農業のプロフェッショナルを育てる

新潟県農業大学校

Niigata Prefectural Agricultural College

# 新潟県農業大学校の 概要と取組について

新潟県農業大学校研究科  
准教授 齋藤麗子

01 稼げる農業

# イノベーションが進む現代農業

02 法人化・多角化・大規模化

従来の家族経営農業から社会的信用力を高め

03 高度技術化 新しい農業へのチャレンジを

情熱と志を持って挑戦する人材を

04 雇用就農新潟農大から踏み出す！  
育成することが新潟農大の使命です

農業法人に就職し、「農業」を仕事として  
選ぶ若者が増加しています。

直売所

法人経営体数

年

2021

8540

人 0 2000 4000 6000 8000

# アドミッションポリシー

## 本校の入校者受入方針

1. 本県で**就農**又は農業・農村地域の**指導に携わる強い意志**
2. **自立心と協調性**に富み、心身ともに健康
3. 高等学校教育課程における**基礎学力**を備えている
4. **農業の諸課題に興味**を持ち自己の**将来と結び付けて考える**
5. 自己の将来設計と実現に向けて、**主体的に学ぶことができる**

# 本校が目指す教育

【実践力】

1. 高度な専門知識と**技術力**

2. ビジネスとしての**経営力**

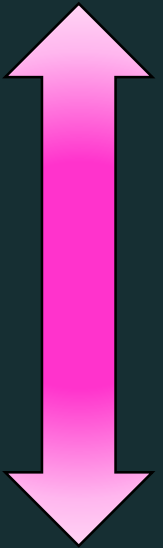
3. 課題解決に向けた**実践力**

4. 社会の変化に対応した豊かな**創造力**

5. 柔軟な**コミュニケーション能力**

【人間力】

6. より広く深い**人間力**



情熱と**志**を持って農業に取り組む**人材の育成**

# 農大の学びの特徴

- 1 学科と専攻
- 2 広大な学びの場
- 3 全寮制
- 4 実学に重きをおいた入校経費
- 5 進路決定率100%

# 学びの特徴(1)

## 学科と専攻

農業を学ぶ2年制専修学校

学 科	定 員	専 攻
稲作経営科	2年制 40名程度	稲 作
園芸経営科	2年制 30名程度	野 菜
		果 樹
		花 き
畜産経営科	2年制 10名程度	酪 農
		肉 畜

# 学びの特徴(2)

## 広大な学びの場

## 農業現場の最先端

## で活躍している

## 講師陣からの学び

- ・農業普及指導員
- ・新潟大学講師
- ・中小企業診断士など



# 学びの特徴(3)

全寮制



一人一部屋の個室制



# 2か年の経費内訳

## 学びの特徴(4)

国内外  
農業研修

教材費

構内に

入

講義・実習で学ぶ

2%  
を学ぶ女子学生)

# 学びの特徴(5)



県内農業法人と学生のマッチングの様子

JA・農業関連企業

## 本校の進路指導

入校直後から開始



県農業普及指導センター  
県農業経営・就農支援センター

▼(連携)

インターンシップ(職場体験)  
マッチング



就農・法人就業・研修

# 学びの特徴(5)

農業指導者志望  
への対応



4年制大学への編入



入校直後



学習方法と対策を指導

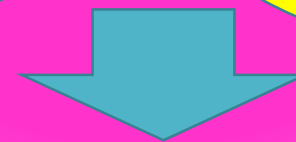
## 本校から編入するメリット

- 農業現場を熟知した講師陣による指導



● 農業の現状  
とめざす指導  
方向を的確に  
学習

● 実習・演習  
を十分実施し  
農業の基礎技  
術を習得



四大での学びが深まる

# 令和6年度学生募集の概要

## 募集定員

学 科	就業 年限	定 員	推薦入校	一般入試 前・中期	一般入試 後期
稲作経営科	2年	40名程度	募集定員 の おおむね 70%	20人 程度	若干名
園芸経営科	2年	30名程度			
畜産経営科	2年	10名程度			

注) 一般入試中期試験終了時の合格者数により、一般入試後期試験を実施しないことがあります。

# 令和6年度学生募集の概要

## ▶ 出願資格（一部抜粋）

### 学校長推薦

- 新潟県内において**就農（農業法人への就業等を含む）**又は農業農村地域**指導に携わる強い意志**がある
- 全体の学習成績の状況が**3.0以上**

### 地域推薦

- 高等学校（中等教育学校）を**卒業した者**又は校長がこれと**同等以上の学力と認められた者**で、**認定新規就農者、認定農業者の後継者**のいずれか
- 本校卒業後、認定新規就農者は新潟県内で引き続き**就農を継続する強い意志**、認定農業者の後継者は**県内の当該経営を継承する強い意志**がある

# 令和6年度学生募集の概要

## ▶ 出願資格（一部抜粋）

### 一般入校

- 高等学校（中等教育学校）を卒業した者（令和6年3月卒業見込みの者を含む）又は校長がこれと同等以上の学力と認めた者
- 本校卒業後、新潟県内において就農（農業法人への就業等を含む）又は農業農村地域の指導に携わる意志がある者

# 令和6年度学生募集の概要

## ▶試験期日

試験区分	試験期日
推薦入校	令和5年11月2日(木曜日)
一般入校前期	令和5年12月8日(金曜日)
一般入校中期	令和6年1月26日(金曜日)
一般入校後期	令和6年3月11日(月曜日)

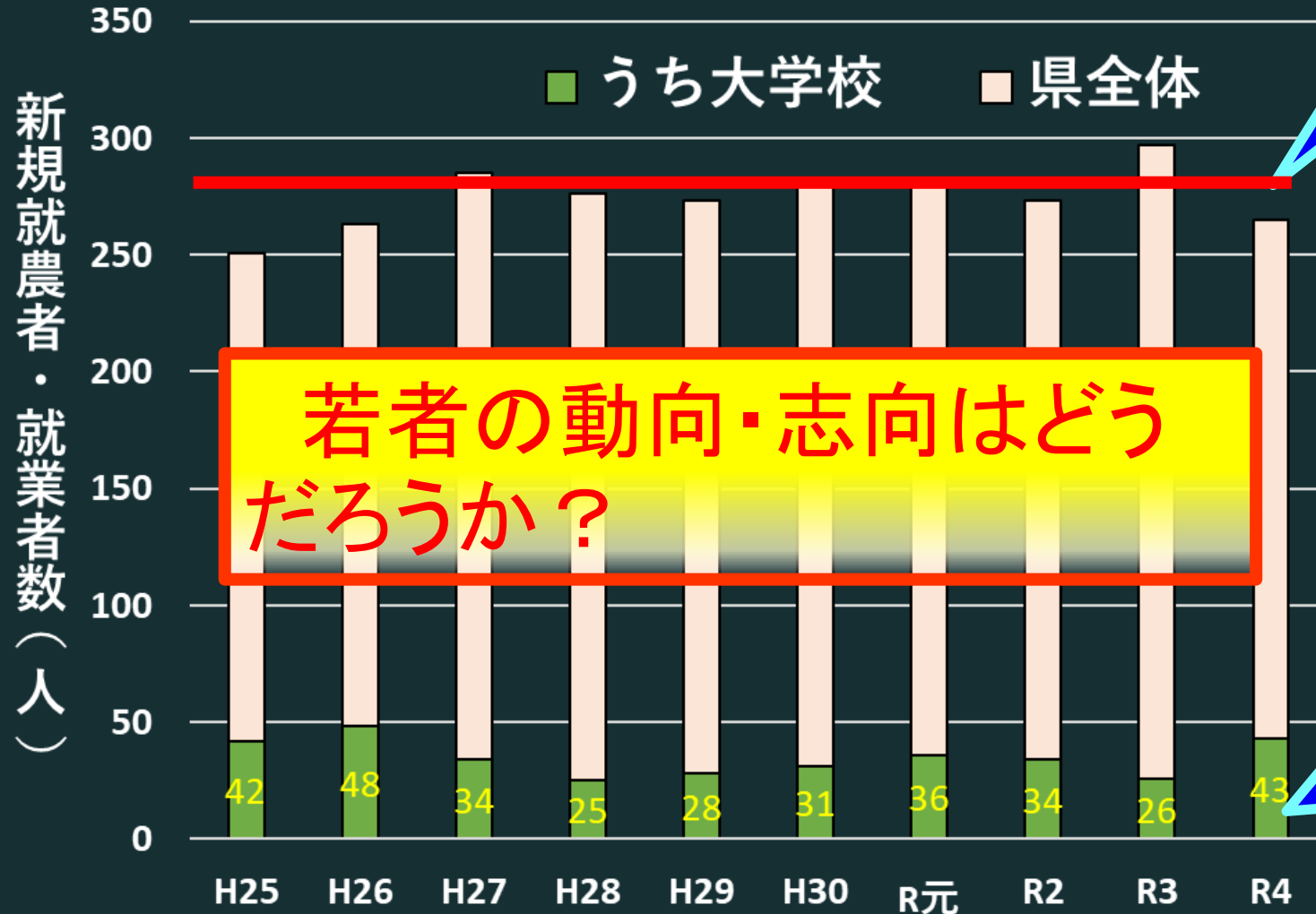
注) 一般入試中期試験終了時の合格者数により、一般入試後期試験を実施しないことがあります。

# “農業”が若者に選ばれるために

- 1 就農・就業状況
- 2 高校生の進路に影響する人物とは
- 3 若者が仕事を選ぶ上で重視することとは



# 就農・就業状況(1)



若者の動向・志向はどう  
だろうか？

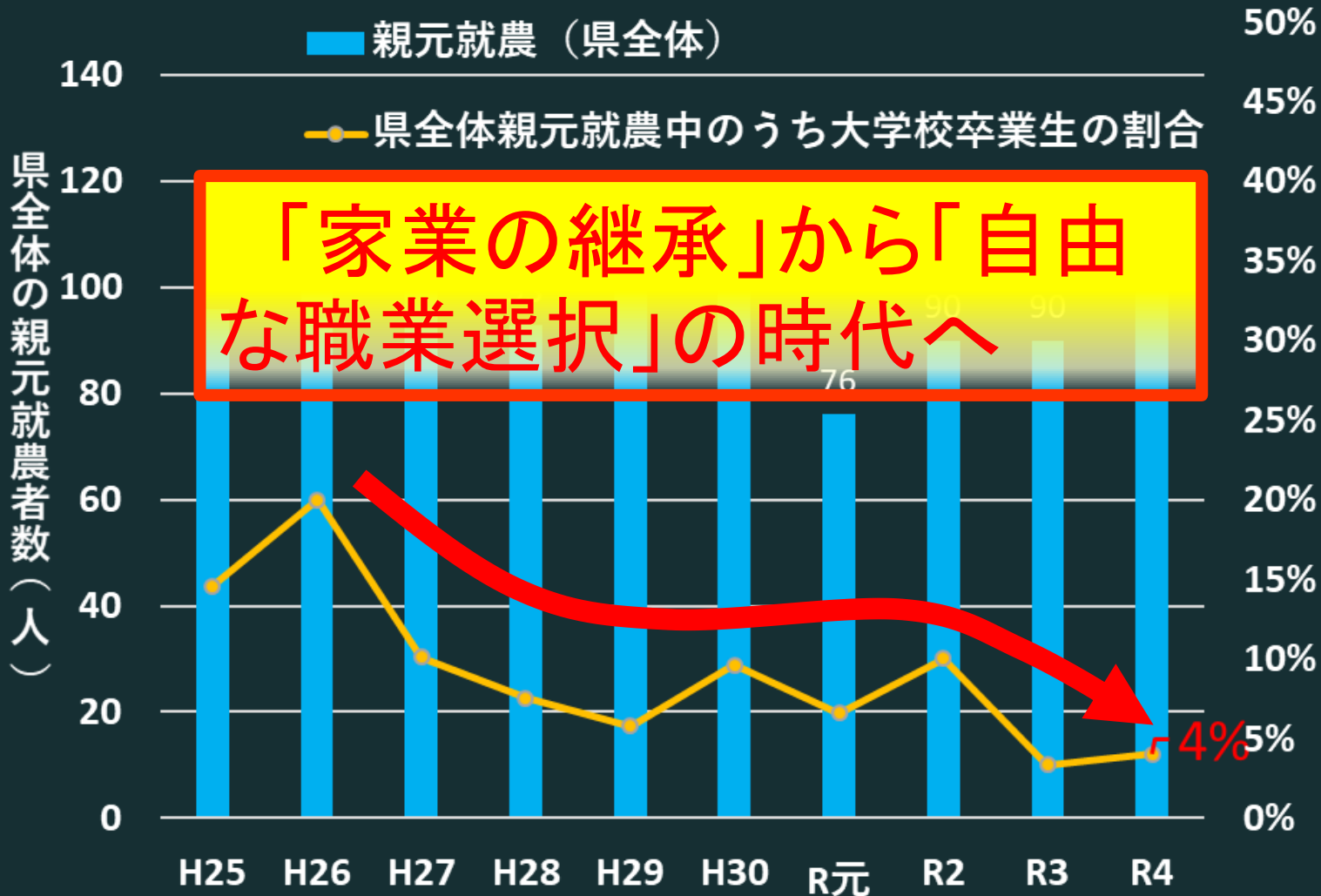
新潟県目標  
(農業)



年間280人

新潟県の新規  
就農者・就業者数  
のうち、新潟県農  
業大学校卒業生  
は、毎年約10%  
程度

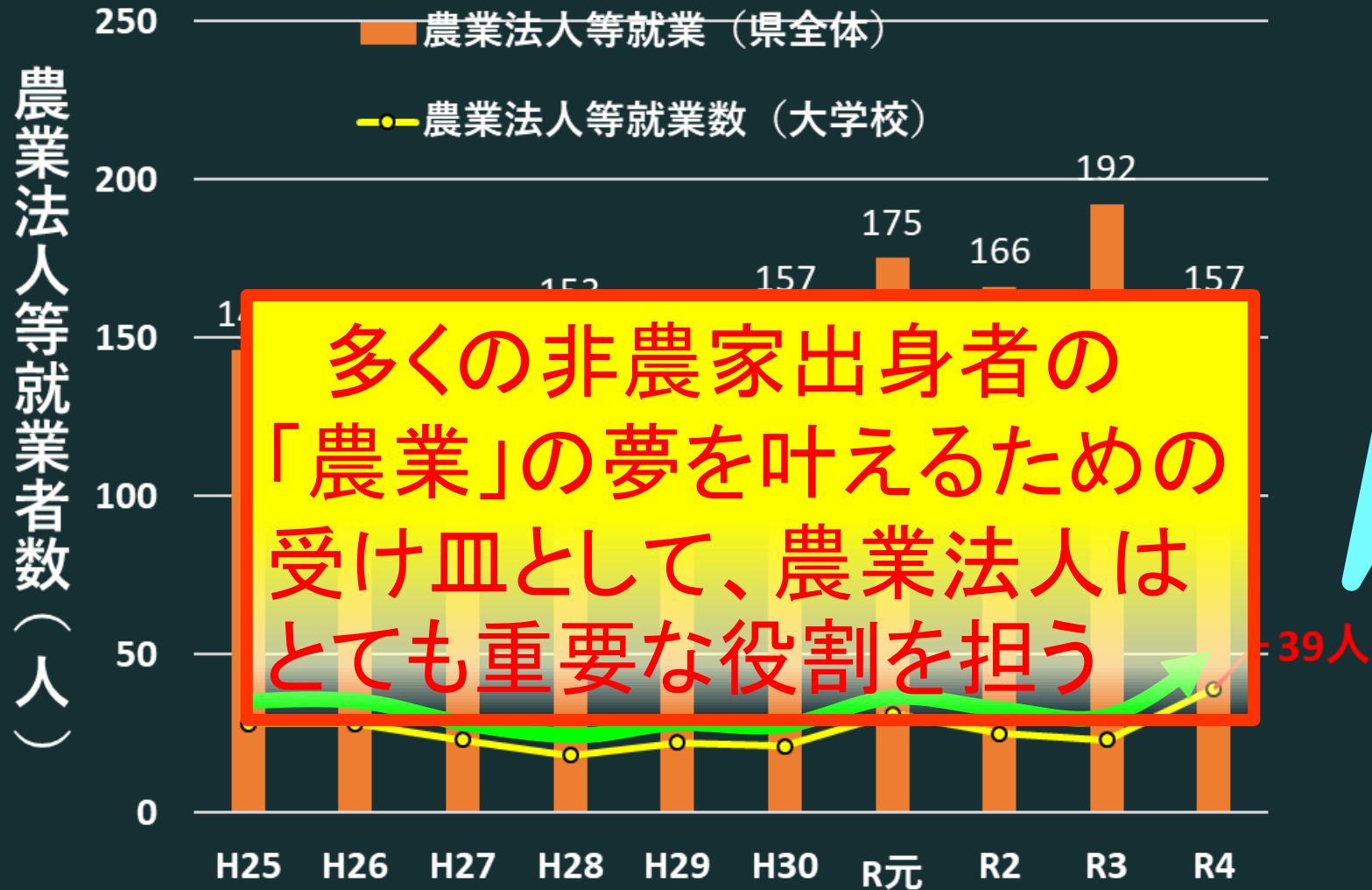
# 就農・就業状況(2)



親元就農のうち大学校卒業生の割合

大学校生の親元就農者数は、近年減少傾向

# 就農・就業状況(3)



多くの非農家出身者の「農業」の夢を叶えるための受け皿として、農業法人はとても重要な役割を担う

大 学 校 生 の 農 業 法 人 就 業 者 数 は、 近 年 増 加 傾 向

# 就農・就業状況(4)

地域別における農業大学校入校者数と年次推移

地域名	R元	R2	R3	R4	R5	総計
1 村上	1	2	3	1	4	13
2 新発田	9	5	13	10	7	60
3 新潟	15	11	7	14	9	80
4 巻	4	3	2	9	5	32
5 三条	9	6	11	12	6	56
6 長岡	9	9	11	6	7	64
7 魚沼			5	1		9
8 南魚沼		2		1		4
9 十日町			1	2	4	10
10 柏崎	1	1	1	2	2	13
11 上越	6	5	7	4	2	38
12 糸魚川	1					2
<b>13 佐渡</b>	<b>2</b>		<b>2</b>		<b>2</b>	<b>8</b>
総計	57	44	63	62	48	389

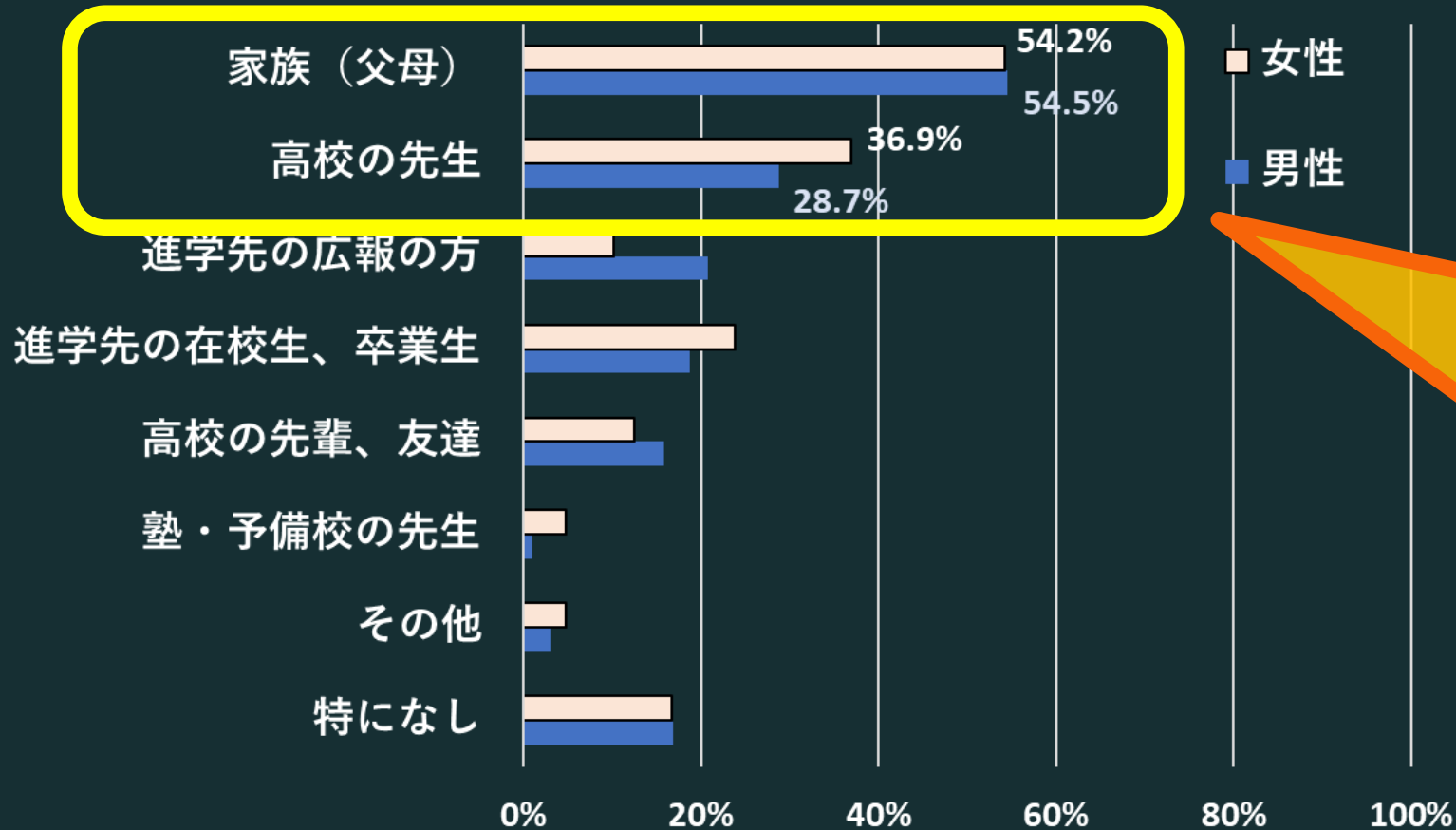
入校者数は、地域差大

特に少数地域



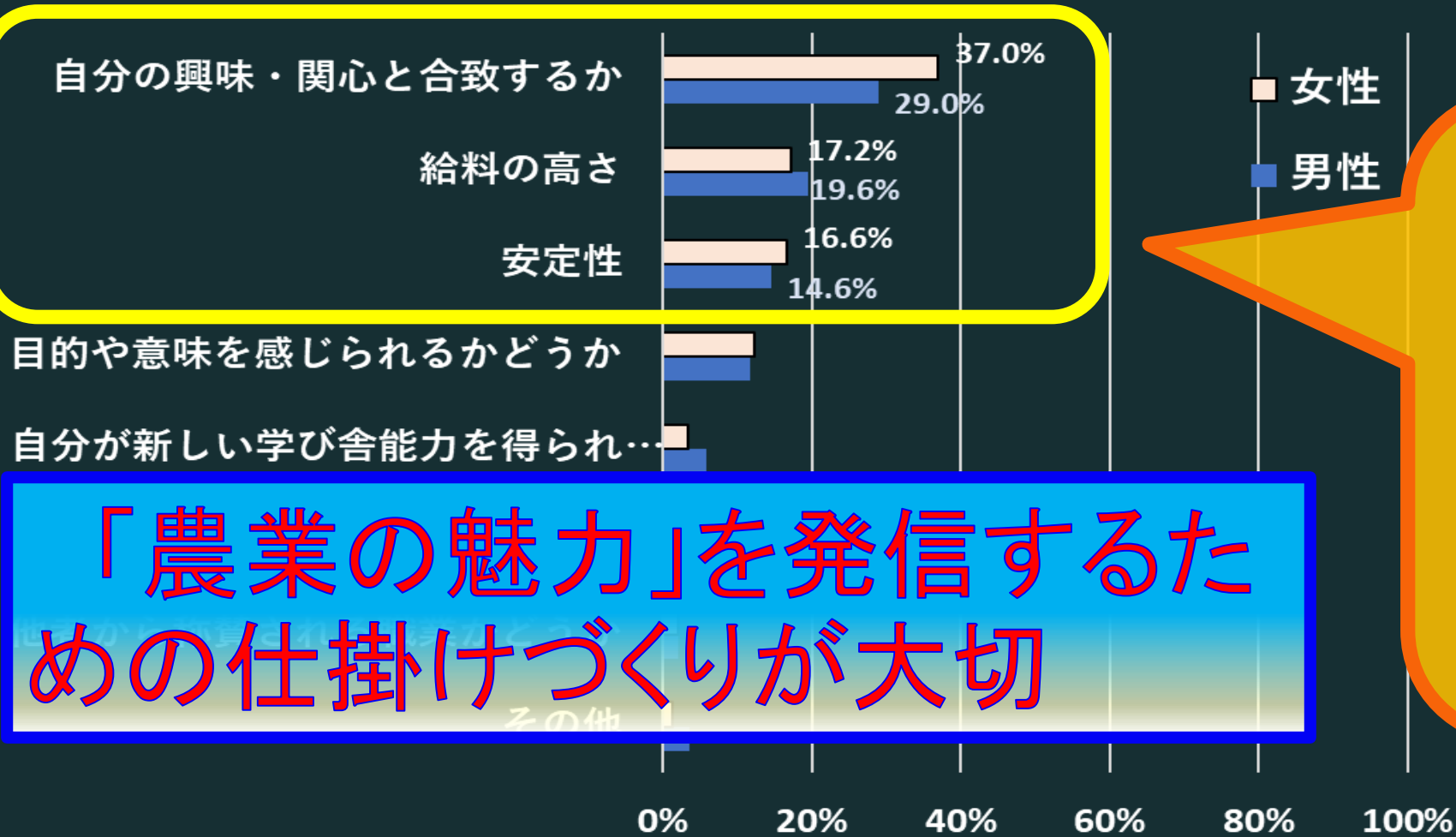
魚沼・南魚沼  
糸魚川・佐渡

# 進学学校種決定に影響があった人物



家族や高校の先生に「農業」の魅力をどう伝えていくのか？

# 仕事を選ぶ上で重視するもの



17歳～19歳の生徒・学生たちが職業を選ぶポイントは...

「農業の魅力」を発信するための仕掛けづくりが大切

2022 日本財団18歳意識調査「第46回 国や社会に対する意識」報告書より  
調査対象者：17歳～19歳男女 男性500人 女性500人

# 大学校の取組

## 1 県内高校へのアプローチ

**農業の魅力**

県内高校の進路担当教員へ情報提供  
(学校訪問)

県内高校生への情報提供  
(学校訪問・Web・オープンキャンパス)

# 大学校の取組

## 2 「農業」の特徴・将来性等を分かり易く情報提供



初志貫徹で養豚業に就業！  
成長を感じています



メロンが大好き！  
夢をかなえて農業法人で  
メロンを栽培しています



家族とともにユリを栽培。  
将来の地域貢献も考えています

農業現場で活躍している卒業生の事例を用い広くPR



# 研修センターの取組

## 2 小・中・高校生への発信強化



大地の子農業体験研

アグリ

アグリキャンパスツアー

園児・児童・生徒の農業体験受入高校生への農業講座



ともに農業の魅力発信を

Niigata Prefectural  
Agricultural College

以上で説明を終わります。